



2026年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年10月10日

上場会社名 株式会社インターファクトリー 上場取引所 東
コード番号 4057 URL <http://www.interfactory.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 蕪木 登
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼CFO コーポレートディベロップメント部長 (氏名) 赤荻 隆 TEL 03-5211-0086
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年5月期第1四半期の業績 (2025年6月1日～2025年8月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年5月期第1四半期	736	16.6	44	170.3	43	180.7	26	116.0
2025年5月期第1四半期	631	6.2	16	—	15	—	12	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年5月期第1四半期	6.69	6.67
2025年5月期第1四半期	3.10	3.08

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年5月期第1四半期	2,060	1,207	58.6
2025年5月期	2,113	1,181	55.9

(参考) 自己資本 2026年5月期第1四半期 1,207百万円 2025年5月期 1,181百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年5月期	—				
2026年5月期 (予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年5月期の業績予想 (2025年6月1日～2026年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,223	12.5	82	△58.0	77	△59.3	53	△61.0	13.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年5月期1Q	4,125,700株	2025年5月期	4,124,400株
② 期末自己株式数	2026年5月期1Q	90,000株	2025年5月期	90,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年5月期1Q	4,034,833株	2025年5月期1Q	4,034,400株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する中で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が継続することが期待されています。一方で、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響など、国内の景気を下押しするリスクもあり、金融資本市場の変動には引き続き十分注意する必要があります。

当社は、クラウドコマースプラットフォーム事業という単一の事業で成長してまいりましたが、EC関連サービスが多様化かつ複雑化する近況を鑑み、2024年5月期からはサービス領域を拡大し「ECビジネス成長支援事業」及び「データ利活用プラットフォーム事業」を新たに展開し、EC事業者の幅広いニーズに応えていくために、収益手段の多様化を図っております。伴って、新たに開始する事業への投資も積極的に行っております。

事業セグメント別の状況は、以下のとおりであります。

<クラウドコマースプラットフォーム事業>

従来より注力してまいりました「クラウドコマースプラットフォーム事業」においては、既存顧客の満足度向上及び新規顧客の開拓を図るため、組織改編等により営業部門を強化することでシステム受託開発売上の新規獲得並びに運用保守売上の積み上げに努めてまいりました。また、「EBISUMART」をより信頼性の高いECプラットフォームとするため、情報セキュリティマネジメントシステムISO/IEC27001の認証取得やクレジットカード業界における国際セキュリティ基準であるPCI-DSSへの準拠証明の取得も継続して行っておりまいりました。さらに、EC市場拡大と弊社既存顧客の成長を見越し、EC流通総額が更に大きい大規模顧客層をターゲットにした、ハイスpekの新たなクラウドコマースプラットフォーム「EBISUMART Enterprise」を展開し、これにより小規模事業者から大規模事業者まで幅広い顧客層をカバーすることが可能となっております。

このような状況の中、システム運用保守売上については、既存店舗のGMV（流通取引総額）及びPV数（ページ閲覧数）が引き続き堅調に推移し、当初計画通りに推移しました。システム受託開発売上ににつきましては、受注状況は改善してきているものの、一部案件で稼働が想定を下回り、売上は計画値を下回って推移いたしました。また、昨年度より継続して各部門において原価の管理を徹底するとともに作業の効率化を図ったことにより、各案件における利益率は好調に推移いたしました。この結果、クラウドコマースプラットフォーム事業の売上高は665,182千円（前年同四半期比15.8%増）、セグメント利益は223,918千円（前年同四半期比38.1%増）となりました。

<ECビジネス成長支援事業>

「ECビジネス成長支援事業」においては、ECモール及び自社ECサイトを運営する全ての事業者様を対象とした、EC事業の成長を戦略立案から実務まで一気通貫で支援するサービス「EBISU GROWTH」をパートナー企業と連携して展開し、収益手段の多様化とともに新たな顧客層へのアプローチを図ってまいりました。また、各種イベントや展示会にも積極的に参加した結果、既存顧客に加えて新規顧客からの引き合いが増加し、売上高は当初計画を上回って推移しました。この結果、ECビジネス成長支援事業の売上高は71,723千円（前年同四半期比25.6%増）、セグメント利益は1,470千円（前年同四半期はセグメント損失5,807千円）となりました。

<データ利活用プラットフォーム事業>

「データ利活用プラットフォーム事業」においては、各ECサイトにおける商品情報を一元管理し、複数の販売チャネルにおいて統一された正確な情報を提供することで、EC業務の効率化と商品価値の最大化を実現する「EBISU PIM（エビス ピム）」の提供を2025年2月より開始しました。当第1四半期累計期間においては、サービスのプロモーションや機能の拡充に注力してまいりましたが、売上は発生しておらず、サービスの構築費用のみが発生している状況であり、セグメント損失は12,792千円（前年同四半期はセグメント損失6,310千円）となりました。

なお、各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用は168,147千円（前年同四半期比25.9%増）となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は736,906千円（前年同四半期比16.6%増）、営業利益は44,448千円（前年同四半期比170.3%増）、経常利益は43,471千円（前年同四半期比180.7%増）、四半期純利益は26,997千円（前年同四半期比116.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比べ52,962千円減少し、2,060,532千円となりました。主な要因は、システムの年間契約等により前払費用が32,122千円増加したことや、法人税等の支払い等により現金及び預金が133,586千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末と比べ78,474千円減少し、853,359千円となりました。主

な要因は、法人税等の支払いにより未払法人税等が76,738千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末と比べ25,512千円増加し、1,207,173千円となりました。主な要因は、四半期純利益を26,997千円計上したことによるものであります。この結果、自己資本比率は58.6%（前事業年度末は55.9%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月期の業績予想につきましては、2025年7月14日に公表いたしました通期の予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年5月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	477,307	343,721
電子記録債権	9,591	11,484
受取手形、売掛金及び契約資産	719,764	772,004
仕掛品	14,749	23,859
貸倒引当金	△311	△309
その他	109,546	141,658
流動資産合計	1,330,648	1,292,418
固定資産		
有形固定資産	18,320	17,963
無形固定資産		
ソフトウェア	640,730	614,385
ソフトウェア仮勘定	24,309	54,104
無形固定資産合計	665,040	668,490
投資その他の資産		
投資有価証券	9,181	7,541
敷金	71,688	71,688
その他	21,453	5,269
貸倒引当金	△2,839	△2,839
投資その他の資産合計	99,484	81,660
固定資産合計	782,846	768,113
資産合計	2,113,494	2,060,532
負債の部		
流動負債		
買掛金	59,097	91,158
短期借入金	370,000	370,000
未払法人税等	80,916	4,178
未払消費税等	51,875	36,367
未払費用	186,476	157,645
その他	169,958	180,342
流動負債合計	918,324	839,691
固定負債		
資産除去債務	13,509	13,509
その他	—	158
固定負債合計	13,509	13,667
負債合計	931,833	853,359
純資産の部		
株主資本		
資本金	435,600	435,678
資本剰余金	319,200	319,278
利益剰余金	465,516	492,514
自己株式	△46,980	△46,980
株主資本合計	1,173,336	1,200,490
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,323	6,683
評価・換算差額等合計	8,323	6,683
純資産合計	1,181,660	1,207,173
負債純資産合計	2,113,494	2,060,532

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年8月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年8月31日)
売上高	631,742	736,906
売上原価	383,157	439,278
売上総利益	248,584	297,627
販売費及び一般管理費	232,140	253,179
営業利益	16,443	44,448
営業外収益		
受取利息	15	296
雑収入	321	329
営業外収益合計	336	626
営業外費用		
支払利息	1,291	1,602
営業外費用合計	1,291	1,602
経常利益	15,488	43,471
税引前四半期純利益	15,488	43,471
法人税、住民税及び事業税	2,350	132
法人税等調整額	641	16,342
法人税等合計	2,991	16,474
四半期純利益	12,497	26,997

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年8月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年8月31日)
減価償却費	47,665千円	54,216千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間（自 2024年6月1日 至 2024年8月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期損益計 算書計上額 (注2)
	クラウドコマ ースプラット フォーム事業	ECビジネ ス成長支援 事業	データ利活用 プラットフォ ーム事業	合計		
売上高						
一時点で移転される財	474,434	57,001	—	531,435	—	531,435
一定の期間にわたり移 転される財	100,306	—	—	100,306	—	100,306
顧客との契約から生じ る収益	574,740	57,001	—	631,742	—	631,742
外部顧客への売上高	574,740	57,001	—	631,742	—	631,742
セグメント間の内部売 上高又は振替高	△100	100	—	—	—	—
計	574,640	57,101	—	631,742	—	631,742
セグメント利益又は損 失(△)	162,106	△5,807	△6,310	149,987	△133,544	16,443

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△133,544千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

2025年5月期第1四半期会計期間より、従来「データの統合及び活用を目的とした事業」としていたセグメント名称を「データ利活用プラットフォーム事業」に変更しております。当該変更は報告セグメントの名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

Ⅱ 当第1四半期累計期間（自 2025年6月1日 至 2025年8月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期損益計 算書計上額 (注2)
	クラウドコマ ースプラット フォーム事業	E C ビジネ ス成長支援 事業	データ利活用 プラットフォ ーム事業	合計		
売上高						
一時点で移転される財	490,036	71,723	—	561,759	—	561,759
一定の期間にわたり移 転される財	175,146	—	—	175,146	—	175,146
顧客との契約から生じ る収益	665,182	71,723	—	736,906	—	736,906
外部顧客への売上高	665,182	71,723	—	736,906	—	736,906
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	665,182	71,723	—	736,906	—	736,906
セグメント利益又は損 失(△)	223,918	1,470	△12,792	212,596	△168,147	44,448

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△168,147千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。